

福井県TAC研修会の開催！

2月1日（金）リライムにおいて、「福井県TAC研修会」が開催され、当日はJ A—TAC担当者ら32人の方にご参加いただきました。

経済連秋田部長の挨拶のあと、全農、経済連より現在の県内外TAC活動状況について情勢報告がありました。続いて、J Aグリーン近江営農企画課の荒居課長より「必要とされるTAC活動を目指して」と題して事例報告をしていただき、今後のTAC活動は他部署・支店との連携強化、担当者交代時の人選（スキルが必要の為）、



J A利用維持拡大に繋げるさらなる仕組み作り、J A内部でのTAC活動に対する理解増進、農業を取り巻く様々な課題対応（高齢化・国際競争）等が課題となってくると述べられました。

その後、各J Aごとに24年度TAC取組報告、25年度TAC活動計画を発表していただき、経済連各課を含めて活発な意見交換が交わされました。



県内TAC活動状況

平成25年に入り各J Aで異動があり、TACメンバーも何名かの交代がありました。25年2月の末時点では10J A30名の方がTACとして登録されており、24年4月～25年2月までで6,417件の面談記録が登録されています。今後ともTACの皆様が活動しやすいようにサポートしていきますので、よろしくお願いします！

□ TAC設置	10JA/12JA
□ TAC担当者	30名（専任7名、兼任23名）
□ 担い手登録件数	1,440件
□ 訪問回数(24.4～25.2)	6,417件

※平成25年2月末現在

福井県内 TACメンバー紹介

所 属	部 署	役 職	氏 名
JA福井市	北部地域事業部	次長補佐	猪之詰 敏 晴
	東部地域事業部	係長	森 下 喜 文
	南部地域事業部	次長補佐	白 崎 良 登
	中央地域事業部	係長	荒 井 博 之
	西部地域事業部	次長補佐	平 本 俊 治
	美山地域事業部	次長補佐	脇 浩 之
JA福井市南部	指導経済部	麻生津担当	鈴木 良 邦
		上文殊担当	庄 田 明 彦
JA吉田郡	営農経済課		桑 原 太 樹
JA花咲ふくい	営農部	営農指導課	課長補佐 青 木 桂 滋
	"	"	課長補佐 田 海 英 次
JAはるえ	生産指導課	担い手担当	杉 田 知 幸
	指導販売部	営農政策課	課長補佐 松 村 利 雄
JAテラル越前	"	"	宮 澤 浩 一
	"	"	尾 崎 大 輔
JAたんなん	指導部	営農課	山 田 有 彦
	営農指導部	営農生活課	係長 山 山 倫 之
JA越前丹生	"	"	敷 内 博 憲
	"	"	宮 崎 司
	"	"	榎 波 高 昇
	"	"	辰 巳 昌 則
JA敦賀美方	本店	営農課	福 田 新 八
	"		青 池 佳 宜
	三方五湖基幹支店	主任	平 尾 宏 弘
	みはま基幹支店	"	中 村 瑛 洸
JA若狭	"		竹 森 瑛 洸
	営農経済部	係長	泉 岡 康 宏
	"	主任	田 中 輝 久
	"	"	岩 間 啓 文

※平成25年2月末現在



ふくい味の祭典への参加



11月17日～18日、福井県産業会館において「ふくい味の祭典」が開催され、白干梅品評会受賞作品の展示や農家による梅干し料理の試食販売が行われました。会場には子供・女性に大人気の福井梅マスコットキャラクターの「ふくい梅しい」「わかさ梅ぼう」も駆けつけ、2日間を通して県内外の多くの人に福井梅を



PRしていました。

開催前には白干梅品評会受賞者のうち、知事賞に選ばれた赤尾光永氏と「コシヒカリのふるさと福井米レベルアップコンテスト」「麦作優秀者」の知事賞に選ばれた3名（組織）らが西川知事より表彰されました。なお、福井米レベルアップコンテストでは、一次審査（栽培履歴・品質外観・味度値）と二次審査（10名の審査員による官能審査）によって決定されました。



平成24年度福井県麦作優秀者表彰制度受賞者

平成24年度「コシヒカリのふるさと福井米」レベルアップコンテスト受賞者

賞	氏名（組織名）	市町
最優秀賞	福井県知事賞（農）谷口生産組合	池田町
優秀賞	JA福井県中央会会長賞 嘉名和子・睦	越前町
優良賞	JA福井県経済連会長賞 水上 滋	福井市
	黒田 市村	越前町
努力賞	（農）熊坂営農生産組合	あわら市
	山田 治和	大野市
	杉箸営農組合	敦賀市
	川上営農組合	おおい町

【農家の部】	氏名
福井県知事賞	石川 淳夫
JA福井県中央会会長賞	奥村 善孝
JA福井県経済連会長賞	畑中 文吾
福井県主要農作物振興協会会長賞	岩本 光雄
【集団の部】	名称
福井県知事賞	農事組合法人 アグリBANDEN
JA福井県中央会会長賞	農事組合法人 市右エ門島ファーム
JA福井県経済連会長賞	小野谷麦生産組合
福井県主要農作物振興協会会長賞	特定農業団体 やったのファーム越前

「元気な福井の水田農業」推進大会

2月7日～8日、福井県立大学交流センターにおいて「元気な福井の水田農業」推進大会が開催され、県内各地から認定農業者や農業法人・集落営農組織・行政・JA関係者など約550人が参加しました。

はじめに、大妻女子大学の田代教授から「地域農業の担い手の役割と農業振興の方向」と題して講演があり、今後は高齢者や女性を積極的に活用し、地域の力を発揮していく必要があると述べられました。続いて、（農）いこいの杜 代表理事の土肥義光氏から事例発表があり、後半には地元の優良農家4人がパネラーとなり「今後の農業経営発展の方向性」をテーマにパネルディスカッションが行われました。また展示コーナーでは、JAグループが肥料農薬の新剤紹介及び相談などを行っており、好評を得ることができました。





【受賞者栽培概要のご紹介】



「コシヒカリのふるさと福井米」レベルアップコンテストの部

【最優秀賞】（農）谷口生産組合（池田町）

- ① 苗・移植 苗：稚苗購入 田植日：5月13日～6月1日 栽植密度：60株/坪
② 土づくり・施肥

	資材	散布量	成分量(kg/10a)				散布日等
		(kg/10a)	窒素	リン酸	カリ	ケイ酸	
土づくり	ケイカル	100	—	—	—	30	10月中旬
元肥	セラコートR066	50	5	3	3	—	5/13～
合計			5	3	3	—	※合計に土づくり資材は含まれていない

- ③ 防除：ドクターオリゼ粒剤
④ 除草：忍1キロ粒剤
⑤ 収量：420kg/10a
⑥ 品質・食味向上の取り組み
・池田町独自の特別栽培認証制度に取組んで6年になる。
・土づくりは毎年実施し、3年に一度は池田町産の籾殻牛糞堆肥を散布している。
・化学合成農薬については、育苗箱施用薬と除草剤の4成分以内までに削減するとともに、畦畔の草刈りを6月から3回実施している。
・肥料は、有機質入りの基肥一括肥料を利用し、化学由来の窒素成分量を5割以上削減。
・収穫一週間前まで、しっかり水管理を実施している。

麦作優秀者表彰制度の部

【農家の部】石川 淳夫（鯖江市）

- ① 1・2等の単収：342.4kg/10a 1等比率：100%
② 播種日：10/10、21 播種量：7kg/10a
③ 土づくり・施肥

	資材	施用量	成分量(kg/10a)			散布日
		(kg/10a)	窒素	リン酸	カリ	
土づくり	ケイカル	200	—	—	—	H23.10.5
施肥	新大麦名人	40	30.0	2	10.0	H23.10.21

- ④ 防除：トップジンM粉剤(5/2)、シルバキュアフロアブル(5/9)
⑤ 除草：トレファノサイド乳剤(10/21)
⑥ 収量・品質向上のポイント
圃場周辺にはトレンチャーで深い額縁排水を掘っており、冬期間や雪解け後にもこまめに排水溝の点検・補修を行い、排水管理にの徹底に努めている。また土づくりは、ケイカル200kgを施用し、大麦栽培に適切な土壌pHを目指している。

【集団の部】農事組合法人 アグリBANDEN(あわら市)

- ① 1・2等の単収：364.3kg/10a 1等比率：100%
② 播種日：10/9～14 播種量：7kg/10a
③ 土づくり・施肥

	資材	施用量	成分量(kg/10a)			散布日
		(kg/10a)	窒素	リン酸	カリ	
土づくり	麦豆一番	60	0.0	7.0	0	H23.10.5
施肥	新大麦名人	35	30.0	2.0	10.0	H23.10.13

- ④ 防除：トップジンM粉剤(4/27)
⑤ 除草：ガレース乳粒(10/19)
⑥ 収量・品質向上のポイント
額縁排水と弾丸暗渠に直交させて、10m間隔で明渠を施工し、排水対策を徹底している。また、適期播種により過剰生育の抑制、耕起同時施肥播種を行うことにより好条件下での播種作業を可能とし、肥効調整型肥料の使用により硝子率の抑制に努めている。

北陸近隣6県TAC研修会の開催



2月7～8日、富山県民会館において「北陸近隣6県TAC研修会」が開催されました。JA-TAC担当者ら約100人が参加し、福井県からは5JA11人が参加しました。水稻主穀作が中心で共通の課題を抱える新潟、富山、石川、福井、岐阜、滋賀6県のJA-TACが取組内容紹介や情報交換を行い、各県で役立てられるヒントを探り合いました。



福井県からは松村氏（JAテラル越前）に取組事例を報告していただき、JA概要や日頃の業務内容、テラル越前が主催する研修会などについて説明されました。他に、テーマ毎に1グループ約6人に分かれて分科会や「担い手とのパートナーシップの構築に向けて」と題したパネルディスカッションが行われ、担い手が求めているテーマや課題についての対応策やヒントを出し合い、今後のTAC活動のヒントとしました。

園芸特産課

冬の風物詩「大根のはさがけ」



福井の冬の風物詩「大根のはさがけ」が11月8日に農業会館前で行われました。これは農村文化の継承や農産物の消費拡大のため毎年実施しており、今年で5回目となります。品種は「みやしげ」で、県内の5JA（福井市、吉田郡、花咲ふくい、越前丹生、越前たけふ）から集められ、職員約20人が、大根2～4本を1束にして、8段重ねでくくりつけました。

大根は、11月22日に同会館前で開催された「ふくい特産市」にて、干し大根として販売し、完売致しました。



農業機械課

2012 農機お買い得フェア

12月7～8日、経済連総合センターにおいて「2012農機お買い得フェア」が開催されました。みぞれ交じりの寒い天気の中、農家の方やJA関係者ら多くの方がお見えになりました。



3月15～16日にも同会場において『春農機 新古・中古フェア！』を開催いたしますので、皆様のご来場ぜひお待ちしております。



JA

安心・信頼・保障の
JA中古農機

2日間
限り!!

春農機新古・中古 フェア!

2013年

3/

15

金

16

土

9:00~17:00

9:00~15:00

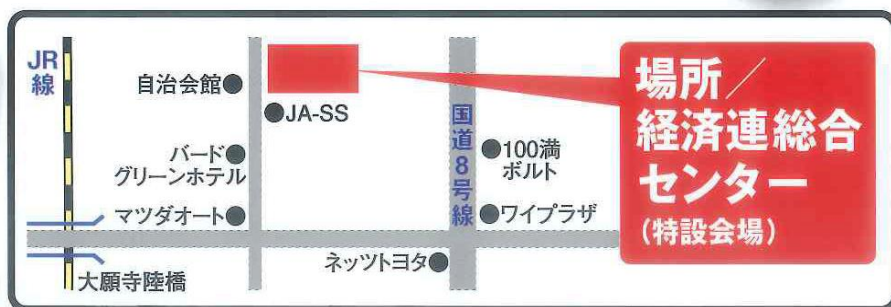
ご来場者にもれなく粗品進呈!

- トラクター・田植機・コンバイン
ミニ耕うん機他、優良中古農機勢ぞろい!!
- その他新品展示機・実演機、在庫一掃処分!

乾燥施設
商談会開催!



小物製品
在庫一掃処分!!



場所
経済連総合
センター
(特設会場)

お問い合わせ 福井県経済連農業機械課 ☎ (0776) 54-4270

福井県JAグループ